

① 遊び始めは、“巨大すごろく”！

寒空の下、「明けましておめでとうございます！」と皆で元気に新年の挨拶を交わして活動がスタートしました。まずは、2グループに分かれてそれぞれ4つのゲームを考えます。皆で何の遊びをしてみたいかな？周りにある自然の物を使ってどんな遊びができるかな？一人一人が知恵を絞ってゲームを考案します。お昼までに7つのゲームが出揃いました！



② ゲームスタート！！

午後からいよいよゲーム開始です。巨大サイコロの出る目の結果に皆ドキドキワクワク。最初に行ったのは、『くみたてるつみき』ゲーム！グループ対抗で、木の枝を積み上げ高さを競います。どちらのチームも、走り回って枝を沢山積み上げていきました。中には丸太のような木を二、三人掛かりで運んで来て、高くしようと協力するメンバーの姿も見られました。



③ 新ゲーム『ねずこおに』！？

続いては『にんげんわなげ』に挑戦！的役のメンバーに向かってフラフープを投げ、体に通す遊びです。やってみると中々難しく、距離を調整し、役割を交代しながら楽しみました。お次は『ねずこおに』！鬼役は“鬼滅の刃の禰豆子”になりきって追いかけます。それに加えて、走る鬼ごっこではなく、早歩きで行うというルールも面白いね。全員夢中で広場内を駆け回りました。



④ 無事にゴールできるかな？

そしてすごろくはゴール目前！最後は工作のマスに止まりました。木の枝とテープだけで好きな物を作ろうというお題に、真剣な表情で取り組んでいました。これをクリアしゴールした後は皆でおやつタイム。この日は思わず震えてしまうほどの強い風と寒さの中での活動でしたが、走って体を温めたり休憩を挟んだりしながら、皆最後までゴールを目指して取り組むことが出来ました。



新年明けましておめでとうございます。本年も『森のくれよん』を何卒宜しくお願い申し上げます。今月は身体を動かして寒さも吹き飛ばそうと、屋外でのすごろく遊びを行いました。そして、そのすごろくの内容はメンバー達で話し合っ決めていくということで、どんなゲームが生まれるのかとても楽しみに様子を見守っていました。活動中、木を積むゲームにて印象的だったメンバーの行動があります。二回戦目に突入した時、ある年長のメンバーが細長い木の枝を積み重ねた枝の山に突き刺して、一気に山を高くしました。頭も使って「どうしたら高くなるか」と懸命に向き合ったから生まれた、積む事だけに捉われないその発想にはこちらでも驚かされ、周りのメンバーも刺激を受けた様子でした。また鬼滅の刃を取り入れた鬼ごっこもユニークで、遊びは社会の変化にも影響を受けて様々に形を変え、子どもの数だけ新しく生み出されていくのだと考えさせられました。改めて、メンバーたちの無限の発想・想像力感じた活動でした。（生田千恵）